

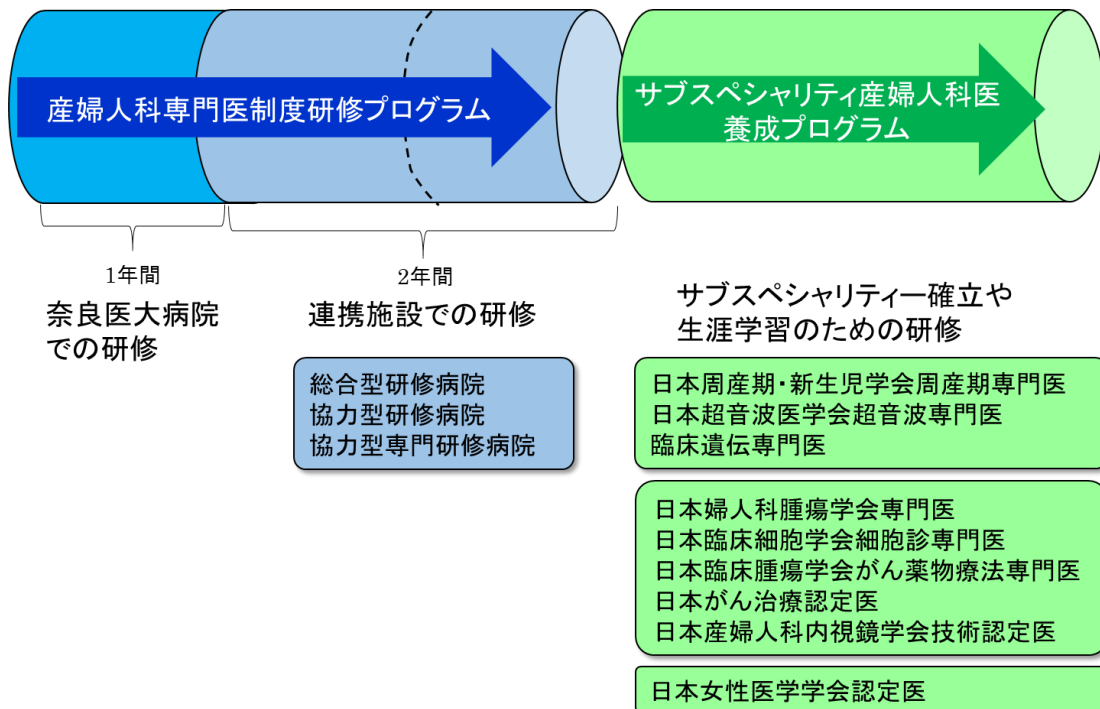
奈良県立医科大学産婦人科専門研修コース例

A. 奈良県立医科大学産婦人科専門研修コースの概要

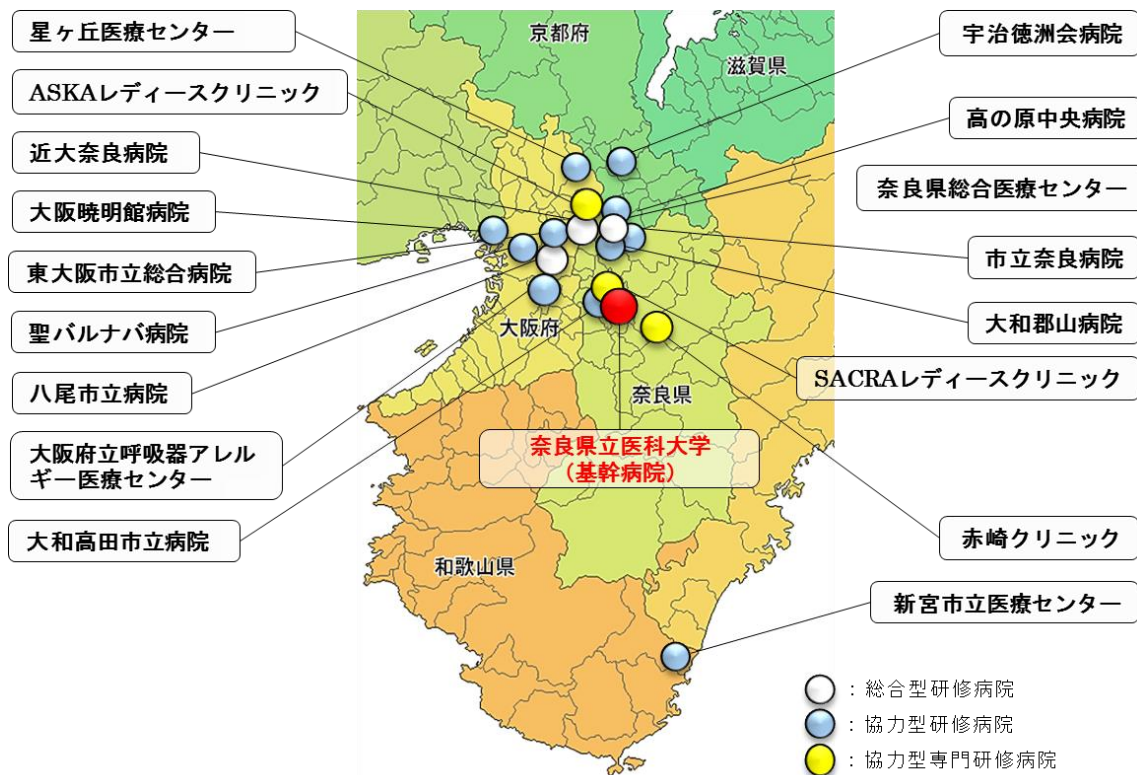
奈良県立医科大学専門研修コースでは奈良県立医科大学附属病院産婦人科を基幹施設とし、連携指導施設とともに医療圏を形成して専攻医の指導にあたる。研修は、原則として、奈良県立医科大学附属病院およびその連携病院によって構成される専攻医指導施設群において行う。

産婦人科専門医養成コース；奈良県立医科大学附属病院 1 年間で専攻医指導施設において 2 年間の合計 3 年間で専門医取得を目指す基本プログラムである。3 年間の専門医研修のうち、1 年間は本プログラムの基幹施設である奈良医大附属病院で研修を行う。

産婦人科専門医養成コース（基本プログラム）



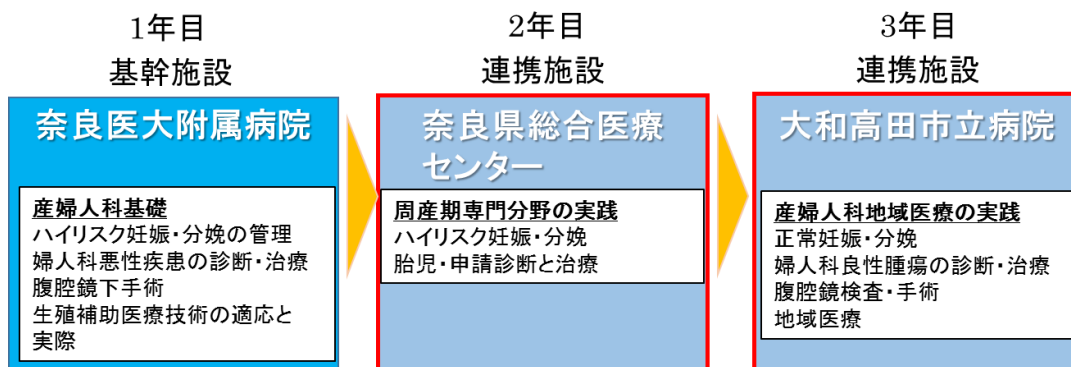
奈良県立医科大学産婦人科専門研修施設群（連携施設群）



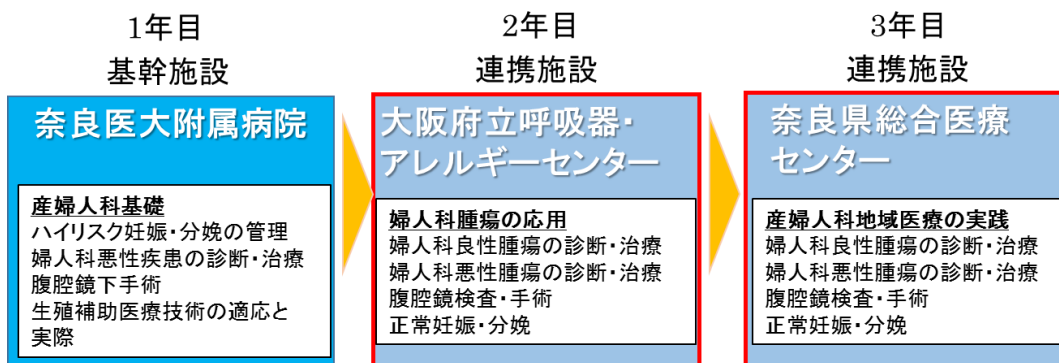
B. 奈良県立医科大学産婦人科専門研修コースの具体例

産婦人科専門医養成コース（基本プログラム）を基本とするが、個々の専攻医の希望に基づいて変更することが可能である。個々の専攻医の希望に応じたきめ細かい研修プログラムを作成することが可能である。

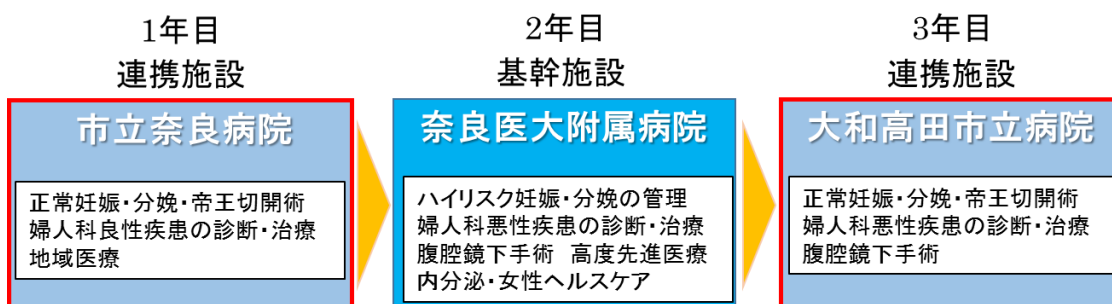
・周産期重点研修コース（例）



・ 婦人科腫瘍重点研修コース（例）

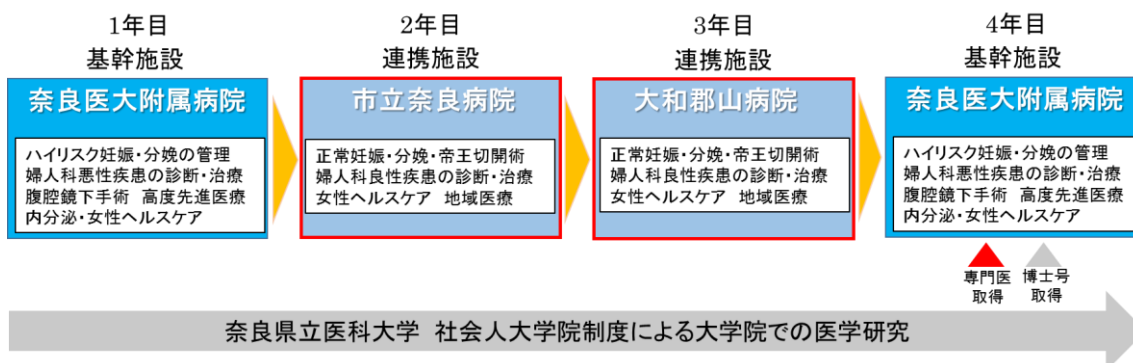


・ 連携施設開始研修コース（例）



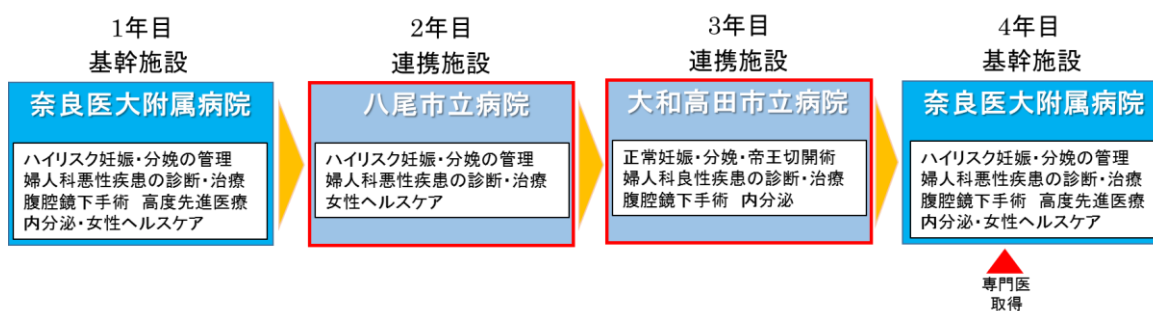
・ 産婦人科専門医大学院研修コース（例）

奈良県立医科大学医学部大学院に「社会人大学院制度」を利用して在籍し、奈良県立医科大学附属病院と連携施設で常勤の臨床医として研修をしながら、専門医取得を目指すと同時に医学博士号取得を目指すためのプログラムである。標準的なプログラムに比し取り組むべき課題は増えるが、早期に博士号を取得できるメリットがある。



・女性医師支援研修コース・復帰支援コース（例）

女性医師で結婚しているために研修に十分時間がとれない場合のプログラム。女性医師の子育て支援のため、院内保育利用しながら、日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の女性医師専攻医の希望に合わせて作成する。妊娠・出産などで一時的に職場を離れた場合は、復帰支援コースとして、女性医師支援研修コースと同様に日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の女性医師専攻医の希望に合わせて作成する。研修期間は、3年を基本とするが、研修進捗状況に合わせて延長も考慮して変更することが可能である。



院内保育所の利用 日勤帯のみの勤務による研修(外来、手術等)支援

※自身の出産による研修の中断は6カ月以内を目安とするが、さらなる期間の休職を希望する場合、研修期間の延長等は柔軟に対応する